

令和 2 年度 兵庫県・阪神地域合同防災訓練実施！

警察、消防、自衛隊など約70機関、約700人が参加



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

訓練で
確かな信頼
積み重ね



メイン会場の様子

令和二年九月二〇日(日)、兵庫県・阪神地域合同防災訓練を実施しました。県では毎年、地域の市町と合同訓練を実施しています。なお、訓練の詳細については、次のとおりです。

一 訓練の目的

自然災害と感染症の複合災害が懸念される中、関係機関が相互に連携し、感染症にも対応した避難所設置・運営に重点をおいた訓練を実施するとともに、救出救助訓練や陸海空による物資搬送訓練等を実施することにより、地域防災力の向上を図る。

二 実施場所

- (一) 尼崎市立中央中学校 (メイン会場) .. 感染症に対応した避難所設置・運営訓練等
- (二) 三田市立母子小学校 .. 孤立集落救出救助訓練等
- (三) 阪神南広域防災拠点 (西宮市) .. 陸海空による物資搬送訓練、重傷者広域搬送訓練
- (四) 兵庫県広域防災センター (三木市) .. SCU (広域医療搬送拠点臨時医療施設) 設置・運営訓練等
- 三 想定
コロナ禍での南海トラフ地震の発生及び風水害による孤立集落の発生
- 四 訓練の特徴
(一) 感染症に対応した避難所設置・運営訓練
ア 避難所の開設 (間仕切りによる身体的距離の確保、衛生資材の設置等)

イ 避難者の受入れ (健康チェック、体調不良者を専用スペースに誘導等)

ウ 避難所の運営 (手洗いや3密防止等の徹底、医療関係者による衛生指導等)

(二) 多様な場面を想定した訓練

ア 陸海空による物資搬送訓練、重傷者広域搬送訓練

イ 警察・消防・自衛隊など、複数の救助機関が連携した倒壊家屋等からの救出救助訓練

ウ 孤立集落を想定した救出救助訓練

エ ドローンの活用 (複数箇所での同時飛行による被害状況のリアルタイム中継)

(三) 多会場連携型の訓練

尼崎市 (メイン会場)

の他、三田市、西宮市、三木市においても、連携した実動訓練を実施

(四) 感染症に対応した訓練スタイル

ア 複合災害を想定した実動訓練 (感染防止に配慮した救護措置等)

イ 感染防止に配慮した会場運営 (一般見学者の人数制限、身体的距離の確保等)

五 訓練内容

(一) 実動訓練

ア 感染症に対応した避難所設置・運営訓練

イ 救出救助 (倒壊家屋・車両) 訓練 (〃)

ウ 道路啓開訓練 (〃)

(次ページに続く)



空からの物資搬送 (阪神南広域防災拠点)



海からの物資搬送 (阪神南広域防災拠点)



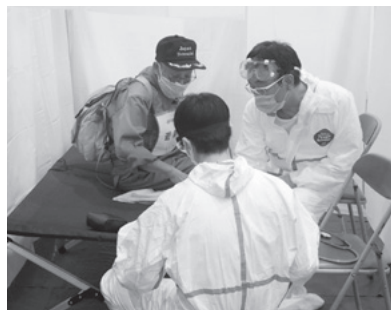
救出救助訓練（倒壊家屋）



救出救助訓練（車両）

エ ライフライン復旧訓練（〃）
オ 救護所設置・運営訓練（〃）
カ ドローンによる被害状況調査訓練（尼崎・三田）
キ 孤立集落救出救助訓練（三田）
ク 重傷者広域搬送訓練（三田↓三木、西宮↓三木）
ケ SCU設置・運営訓練（三木）
コ 陸海空による物資搬送訓練（県庁↓三田、三木↓西宮、海上↓西宮、西宮↓尼崎）
サ ヘリによる被害状況調査訓練（淡路島上空）
シ 要人搬送訓練（県庁↓三田）
ソ その他（尼崎）

ア 屋外展示（災害対応車両・パネル展示等）
イ ペット同行避難訓練
ウ 緊急時燃料供給訓練
エ 炊出し訓練
六 主催
兵庫県・阪神地域合同防災訓練実行委員会
（兵庫県、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、尼崎市消防局、三田市消防本部、西宮市消防局、三木市消防本部、自衛隊、海上保安本部、神戸地方気象台、近畿地方整備局、兵庫県警察、日本赤十字社、兵庫県災害医療センター、医療関係機関（DMA



避難所設置運営訓練

T、JMAT）、兵庫県医師会、兵庫県看護協会、兵庫県歯科医師会、兵庫県歯科衛生士会、兵庫県薬剤師会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫JRAT、ひょうごボランティアプラザ、兵庫県栄養士会、兵庫県防災士会、兵庫県柔道整復師会、兵庫県トラック協会、ヤマト運輸㈱、日本レスキュー協会、兵庫県石油協同組合、神戸学院大学、ライフライン関係機関等

令和2年度兵庫県・阪神地域合同防災訓練に参加しました！

三田市消防団

三田市消防団第四分団は、九月二〇日（日）に三田市の母子で実施された兵庫県・阪神地域合同防災訓練の「孤立集落救出救助訓練」に団長、副団長を含む団員一二名で参加しました。

コプター着陸場所の散水活動と周囲の安全確認、そしてヘリコプターからの救援物資受け取りと物資搬送訓練の実施です。

今後も引き続き、地域の安全と安心を守るため、日々消防団活動に励んで参ります！



物資受取



答礼



散水訓練の様子





秋本会長式辞

第39回 全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 兵庫県消防協会事務局

第三十九回全国消防殉職者慰霊祭が、令和二年九月一七日、日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救急活動を行い不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回あらたに当県の一柱を含む、一一柱の御霊が合祀され、あわせて五、七三三柱が奉納されました。

当県からは、新合祀のご遺族二名の他、岸谷会長をはじめ

め四名の関係者が参列しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、参列人数に制限があり、会場も感染予防対策を徹底された中、執り行われました。

御霊の奉納、国家演奏、黙祷、秋本日本消防協会長の式辞、そして内閣総理大臣（代理・内閣官房審議官）、総務大臣（代理・消防庁長官）の追悼のことばに続き、遺族代表による追悼のことばがありました。

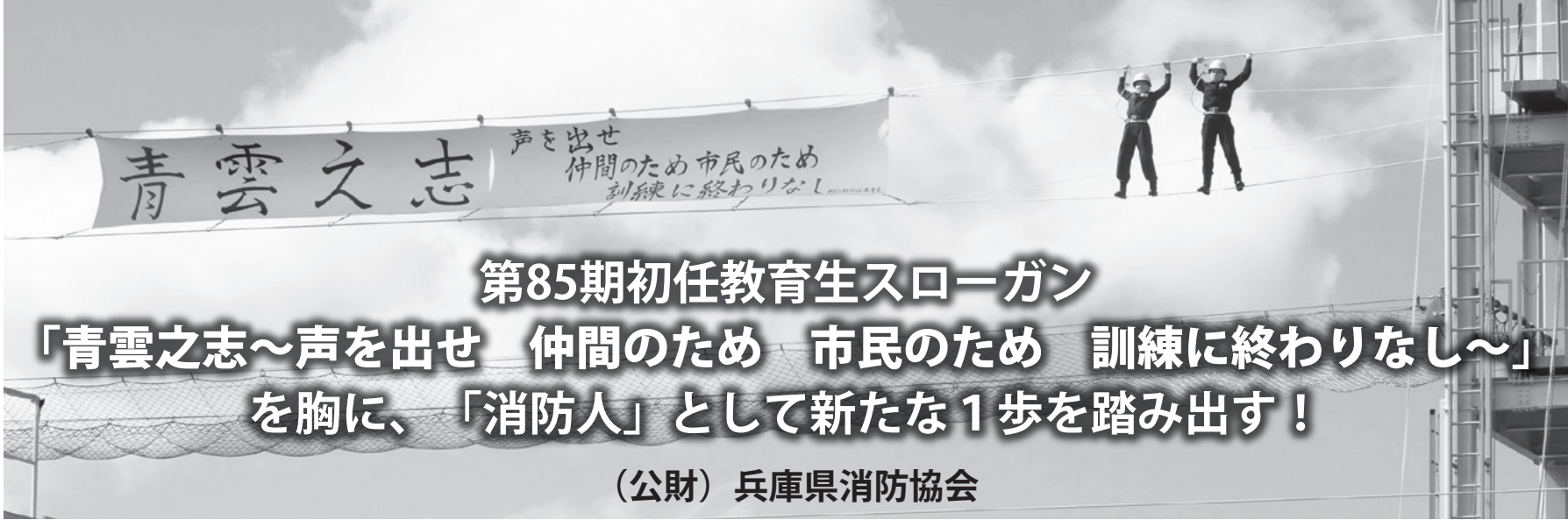
その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌（木遣り）が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。



日消会館屋上の慰霊碑



第85期初任教育 査閲及び卒業式を実施



(公財) 兵庫県消防協会



卒業式の様子

一〇月一〇日（土）、兵庫県消防学校にて、第八五期初任教育査閲が執り行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、消防学校関係者と各消防本部関係者のみの出席となりましたが、県内二三消防本部一六三名の教育生たちは、半年間厳しい訓練を積み重ね、その逞しく成長した姿を、余すところ無く披露しました。

また教育生たちは、一〇月一五日（木）に卒業式を終え、それぞれの所属で現場の最前線に就き、「消防人」としての新たな一歩を踏み出しました。

これからは訓練ではなく任務としての行動が求められるが、消防士として、命を大切に、日々自己研鑽に励んでいただき、兵庫の「安全」と「安心」を守っていただきたいと思っています。



観閲



ポンプ操法



消防活動基本訓練

われら若手消防団員

過疎地域を守る

団員として



姫路市安富町消防団
安富南分団
竹中 靖浩

JR姫路駅からバスで一時間程のところに位置する安富町関地区は「奥播磨かしの里」とも呼ばれ、軍師官兵衛（二〇一四年のNHK大河ドラマ）のタイトル映像の一部として撮影された名勝「鹿ヶ壺」をはじめとする美しい滝や溪谷などがあり、市街地とは別世界の自然にふれあうことが出来ます。

しかし、自然豊かな魅力ある安富町では過疎化の煽りを受け、若年層の人口が減りつつあり、私が所属しております姫路市安富町消防団も若手団員が少なくなってきました。高齡化が進行しております。安富町は姫路市姫路西消防署の管轄になり、隣接す

私が住んでいる姫路市の西北部を占める安富町は、「花とホタルのまち 安富」をキャッチフレーズとした、人口約六千人程の自然豊かな地域です。姫路市の玄関口である

る林田町には林田消防出張所があるものの安富町の最北部まで駆けつけるには同出張所から一五〜二〇分程かかります。消防署の消防車などが来るまで火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけることができ、地域のつながりの強い消防団の役割は、被害を最小限に抑えるためにも特に重要かと思えます。

私は姫路市安富町消防団に入団して八年程になりますが、実際に火災現場へ向かった経験は多くありません。そのような中、ポンプ車操法の選手となり、二大会連続で指揮者として出場しました。これまで出場経験のある団員の方や姫路西消防署の方々より熱心な指導をいただき、ポンプ車操法に初めて出場する私も何とか指揮者として形にすることが出来ました。メリハリのある動き、全員にわかるように大きな声での確に指示する、敬礼など、規律を身に付けることが一番苦勞しましたが、私自身にとっては良い経験になりました。

現在、応急手当指導員としての認定を受けるため、救急講習も受けております。

まだまだ先輩方と比べると知識も経験も劣っておりますが、消防団活動や地域防災に少しでも貢献することができるよう頑張っていきたいと思えます。

企業連携消防団を発足！

～三木市消防団企業連携消防団発足式～

三木市消防団



三木市消防団では、三木市内で二事業所目となる企業連携消防団を、大栄環境株式会社三木リサイクルセンターに設置し、一〇月一日に発足式を実施しました。

企業連携消防団とは、企業の社会貢献活動の一環として、企業内に消防分団を構成し、企業が所在する周辺地域内における就業時間



中に限定して活動します。

三木市では、地域消防団と連携して消防団活動を行うものです。市外でサラリーマンとして働く団員が増加し、地域防災力の低下が懸念される中、就業中の従業員を消防団員として出動させる企業連携消防団を設置し、平日昼間や大規模災害時に有事即応性の高い消防体制を確保します。



消防協力者

感謝状贈呈式

西脇市支部

令和二年九月四日（金）、西脇消防署三階大会議室において消防協力者感謝状贈呈式を開催しました。感謝状を受贈されたのは、前西脇市消防団長、東田新吾さんです。

令和二年八月に発生した林野火災で、いち早く現場に駆け

け付け、的確冷静な判断により初期消火を実施し、火災の延焼による被害を最小限に抑えたもので、その功績をたたえ、西脇消防署長から感謝状が贈呈されました。

有事の際の的確冷静な行動力は、消防団で長年培われた



経験に違いありません。

この度のように、消防団退団後も、地域の安全安心に寄与してくださることに感謝いたします。ありがとうございます。

がんばってます、女性消防団員

『地域に根付く活動の輪！』

赤穂市消防団 団本部女性部



私たち赤穂市消防団女性部は、平成二一年に開催された第一九回全国女性消防操法大会を契機に結成されました。当初は、操法大会出場を目標とした隊員の募集だったのですが、真摯に取り組む姿勢を認められ、翌年には女性部員として活動することになりました。

一〇名でスタートした女性部は、当時では少なかった操法技術の習得者として、消防出初式や消防学校で展示を行うことが多かったのですが、夏には中学校PTAの方への救急救教室、

冬には高齢者向けに家庭防火診断、その他イベントでの警備・普及啓発など、実際の災害現場へ出動することはありませんが、幅広く活動を行っています。

また、『全国女性消防団員活性化大会』や『ひょうご消防のつどい』などに参加させていただき、昨今多発する豪雨・台風災害の場で活躍される女性消防団員のみなさんの貴重な体験をお伺いし、強く感銘を受けました。そして、自分たちにできることは何なのか常に問いかけ、啓発活動の場で「よし、自分たちも！」という活動の輪を広げることから始まるのではないかと考え、今後の活動に活かしていけたらと思います。結成から一〇年余りが経過しましたが、消防職団員のみなさんと共に地域に根ざした活動が続けてまいります。

わが町の団長さん

「歴史ある町から 飛躍する消防団」

神戸市兵庫消防団

高田 央



神戸市兵庫区は古くから港町として栄え、深い歴史を辿ると平清盛や楠木正成が登場し、数々の戦乱の地にもなりました。

幕末には海軍操練所を造るにあたり、勝海舟が仮住まいをし、そのお屋敷に坂本龍馬が立ち寄るなど歴史の人物が訪れており、政治的、経済的な混乱期を経てめざましい発展をとげた地と言えるでしょう。

この由緒ある町の安全を担うのが、私たち神戸市兵庫消防団の役割でもあります。

神戸市兵庫消防団は現在、総団員数一一八名、うち女性団員は一四名で構成され活躍の場を広めつつあります。

今年度からは高田団長が新たに陣頭指揮を執られています。高田団長は入団四七年、第三分団の分団長として八年、本団で八年活躍された後、神戸市兵庫消防団を率いる団長として就任されました。

また、平成二九年には「消防庁長官永年勤続功労章」も受章されており、大変人望が厚い団長です。

本年は、新型コロナウイルス感染症の流行により活動の場が限定されておりますが、このような状況のもとで、災害が起きた際には、ますます地域の力が試される時でもあります。

そのためには団員への教育、訓練に一層力を入れ、よりレベルの高い人材育成を計画しております。

この世界的な混乱期を乗り越えた先には、これまでになく強い私たち、神戸市兵庫消防団の姿を皆様にお見せできると確信しております。

「地域住民の安全が 原動力」

朝来市消防団

平野 光啓



但馬地方の南部に位置する朝来市は、平成一七年に、旧生野町、和田山町、山東町、朝来町が合併して誕生しました。消防団については、一市一団として、朝来市消防団が市全体を管轄し、旧四町毎に支団を配置しています。分団数は三〇分団、令和二年四月一日時点での団員数は、九六〇人となっています。

今年度、朝来市消防団長に就任された平野光啓団長は、昭和五五年に旧和田山町消防

団に入団して以来四〇年間、熱心な消防精神のもと、日々消防団活動に尽力されています。長い消防団活動の中で、特に印象的だったのは、雪が残る山の中の行方不明者捜索。的確な連携のもと捜索を行い、救助を果たすことができたとのこと。

そんな平野団長ですが、実は消防団長としての役を務めながら、「天空の城」で有名な竹田城跡で環境保全員として勤務され、観光客の安全のため、早朝の日の昇る前から城跡内の手入れや、通路の補修などの作業を行っておられます。人々の安全を守るために欠かせない役割という点では、消防団と同じなのではないでしょうか。

但馬地域は人口減少が著しく、団員確保が年々難しくなる一方で、火災、自然災害時の重要性はますます高まっています。地域住民の暮らしの安全を守るため、消防団の大ベテランとしてますます活躍されますことを期待します。



「新団長は 美声の持ち主！」

豊岡市豊岡消防団

太田 克己



豊岡市は、平成一七年四月一日、兵庫県の北東部に位置する一市五町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併してできたまちです。県下で一番広い面積を有している本市の消防団については、合併前の旧市町単位の消防団を設置する多団制を採用しています。

令和二年四月一日に就任された太田団長は、一四分団四四七名で構成されている豊岡市豊岡消防団の団長だけではなく、大規模災害等が発生した場合に、市内の全ての消防団を統括指揮する連合消防団長の重責も担っておられます。そんな太田団長の趣味は詩吟です。大きな声で指示を飛ばすことが多い消防団活動に少しでも役に立てばとの思いから始められたとのことですが、その腕前は既に師範級。先日、日本消防協会のラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」に出演した際に、消防応援団でパーソナリティーの増田明美さんが、真っ先にその美声を絶賛されておられました。

「自分たちの街は、自分たちで守る」「大切な人を守る、豊岡」を合言葉に、日々

の訓練に取り組む消防団員に対し、今日も太田団長の美声で『指示』や『激励』が飛んでいます。



「健康管理を第一に」

豊岡市但東消防団

宮垣 博文



豊岡市但東消防団は、三方

を京都府に囲まれた但東地域を管轄し、七分団、二一三名の団員、小型可搬ポンプ積載消防ポンプ自動車六台の装備で構成しています。

宮垣団長は、昭和五四年に但東町消防団に入団、平成一六年から副団長、本年四月、団長に就任されました。

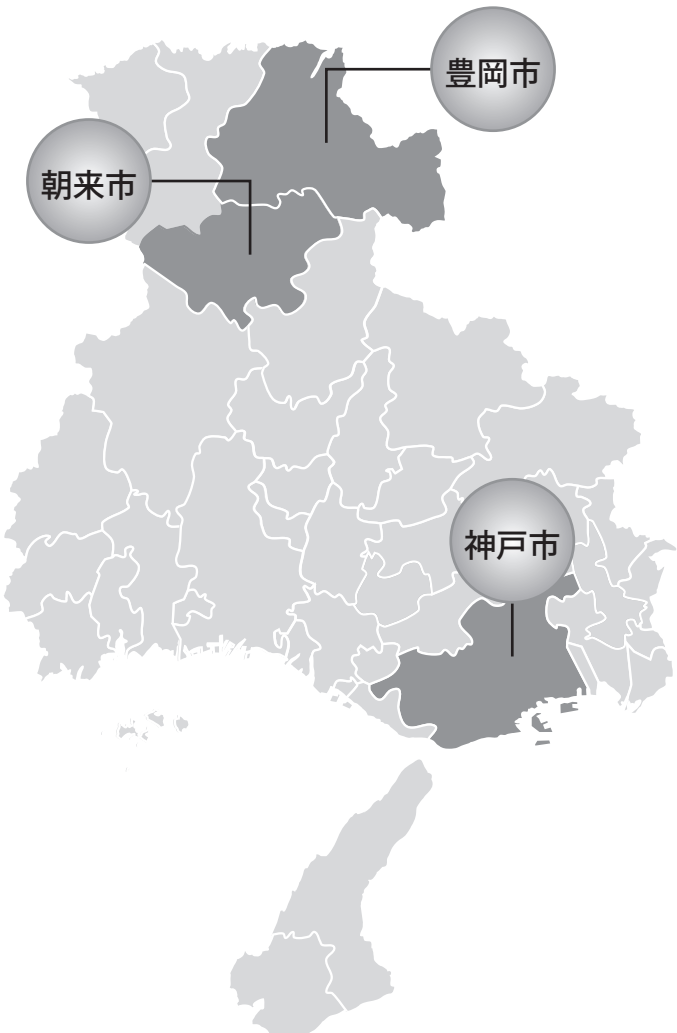
団長は、「団員の健康管理が最優先。消防団員が現場で安全に活動するためには「ポンプ車操法が基本」をモットーに、常に団員とのコミュニケーションを大切にされています。

日頃から「消防団員は、地域の担い手であり、自らの身を守る事ができなければ、地域を守ることができない」とした考えで取り組んでおられます。

水火災現場や訓練においては、ひととき大きな声で、厳しく指揮されている団長ですが、解散後は、団員に対しても細やかな気遣いをされ、心

やさしい一面もあります。農業機械メーカーに勤務されていた経験からポンプ車、発電機、チェーンソーなど消防用機械器具の取扱いやメンテナンスにも知識が豊富で、訓練時に作動しない小型ポンプを自ら修理し、団員からも多くの信頼を得られています。

豊岡市但東消防団は、宮垣団長をリーダーとして地域の安全安心のため、全力で活動してまいります。





『森と共に生きるまち六粟を守る』

六粟市消防団

六粟市は、鳥取県・岡山県と隣接した兵庫県中西部に位置し、琵琶湖とほぼ同じ大きさの六五八平方キロメートルで県下二番目の面積を有しています。その内約九割が森林であり、その中には県内最高峰の水ノ山をはじめ、千メートル級の山々がそびえ、県下を代表する一級河川の揖保川や日本の名水百選の千種川が流れ、自然豊かで四季折々の美しい風景が楽しめるまちです。

六粟市消防団は、団長と専任副団長二人、支団を統括する副団長一三人の合計一六人で構成する団本部と四支団、二九分団、一〇三部で組織され、一、三九六人の団員が所属しています。機械器具の装備状況は、消防ポンプ自動車一八台、小型動力ポンプ付積載車七五台、小型動力ポンプ一一台の装備を有しています。

主な活動としては、火災・風水害等の災害出動や人命検索への出動、操法大会や総合防災訓練等の事業、日頃の備えとして、防火広報や定期的な機具点検等です。今回は、その活動の一部を紹介させていただきます。

【消防出初式】

消防人としての自覚と士気高揚を図るため毎年四月に消防出初式を開催しています。部隊行進や優良消防団員の表



消防出初式 放水



消防出初式 式典

【幹部・新入団員訓練】

正副分団長、部長及び新入団員を対象に幹部・新入団訓練を行います。分団・部の幹部としての礼式、部隊行動の

指揮などを身に付けさせるとともに、新入団員は基本の礼式とホース等の取扱いを学びます。



幹部・新入団員訓練

【水防工法訓練】

毎年六月には、出水期前の備えとして、警察署、消防署と合同で水防工法訓練を行います。土のうの作り方と、基本の積土の工法を学びます。



水防工法訓練

【総合防災訓練】

市内の旧四町持ち回りで毎年総合防災訓練を実施しています。第一部の訓練として自主防災会が一時避難所に避難し初期消火や応急手当の訓練を行います。その中で消防団は、消火器や消火栓の使い方の指導に当たります。

また第二部の訓練では、消防署、警察署、各種団体やボランティアが参加したメイン会場で長距離中継送水訓練や積土の工法訓練などを披露

『身近で頼れる消防団をめざす』

洲本市消防団

洲本市は淡路島の中央部に位置し、東は大阪湾、西は播磨灘に面しています。総面積は一八二・三八平方キロメートル、管内人口は四二、八四四人（令和二年一〇月一日現在）で、山と海に囲まれた農業、漁業が盛んな地域です。洲本市消防団は、本部を除く一六の分団で構成され、消防ポンプ自動車一〇台、小型ポンプ積載車二九台、指揮車二台を有し、男性団員九一五名、女性団員一名、合わせて九

二六名（令和二年一〇月一日現在）が消防団員として活動しています。ほとんどの団員は幼い頃から住んでいる地域の分団に属していることから地域に密着し、身近で頼れる消防団として日々活動をしています。

ここで、洲本市消防団の活動から、いくつかのトピックを紹介させていただきます。

【消防出初式】

消防団の士気高揚と地域住民の防火意識の向上を目的として、年初に消防団出初式を実施しています。毎年、式典後には洲本港において食用の色粉を利用した三種類のカラ放火を行い、華やかに正月を彩る名物行事となっています。



令和2年消防出初式 一斉放水

【地域イベントへの参加】

消防団員の募集や消防団のPRのため、たくさんの屋台などが出店する地域イベントに参加し、消防車両の乗車体験や消防団の活動内容などを展示するブースを紹介してい

ます。中でも子ども用の防火衣を着用しての消防車両の乗車体験は大変人気となっています。



地域イベント ブース展示

【スポーツ交流イベント】

2年に1度、団員間の交流と健康増進を目的に、スポーツ交流イベントを行っています。昨年は、投げた鉄球と目標物との距離を競うニュースポーツ「ペタンク大会」を分団対抗戦で開催しました。ほとんどの団員がはじめて行うスポーツでしたが、戦略を立て、チームワークで競うため、熱い戦いとなりました。

【女性消防団員の活動】

平成26年度より発足した女性消防団員のみで構成されたグループ「Sumoto菜の花Angels」も団員数が徐々に増えてきています。本市の特色は、人数は少ないものの、多種多様な人材（女将、市議、外国人、ドローン操縦者、書道家など）が集まっており、今後の活動が期待されます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、消防操法大会が中止になるなど、消防団活動の縮小が余儀なくされ

ています。このような状況においても市民の安全安心を守るため、感染対策に留意しながら、日々精進を重ねています。



消防署訓練参加 建物へ放水

編集後記

朝夕冷え込むようになり、冬はもう目の前ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。四面には三木市で新たに発足した、企業連携消防団についての記事を掲載しています。是非ご覧ください。

これからの時期は空気が乾燥し、また、暖房器具を使う機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすくなります。火の取扱いには十分ご注意ください。

